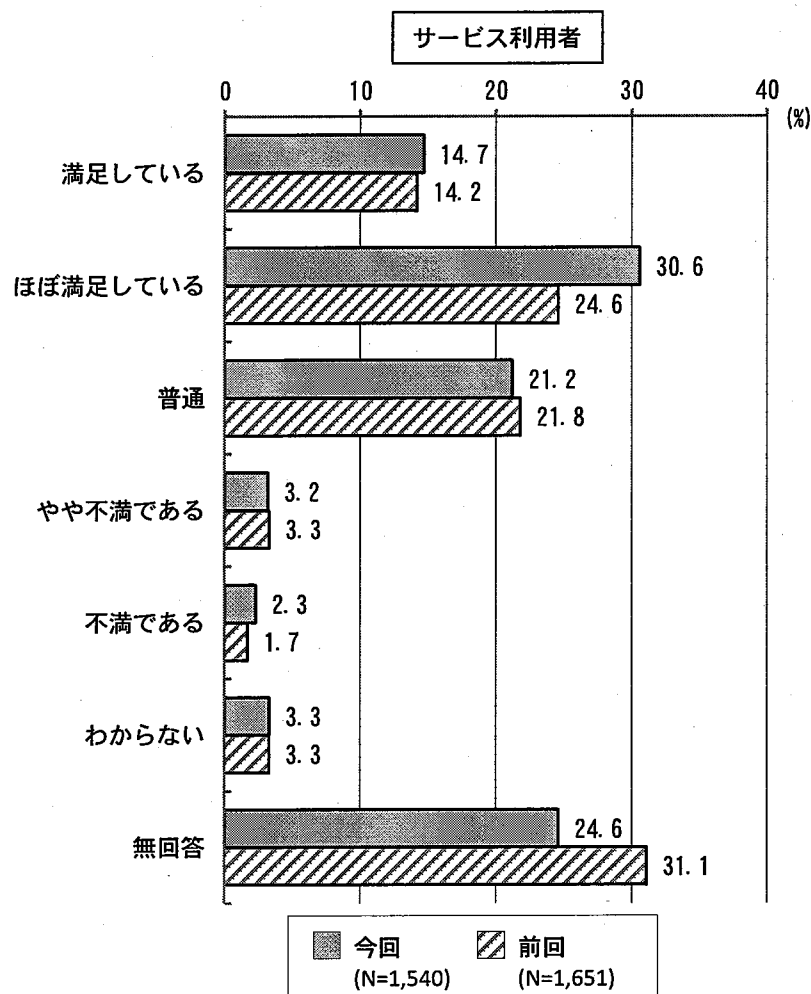


⑥ 介護保険サービスについての介護者の満足度

問26 ご本人が利用している介護保険サービスについて、主な介護者の満足度をおたずねします。(○はひとつ)

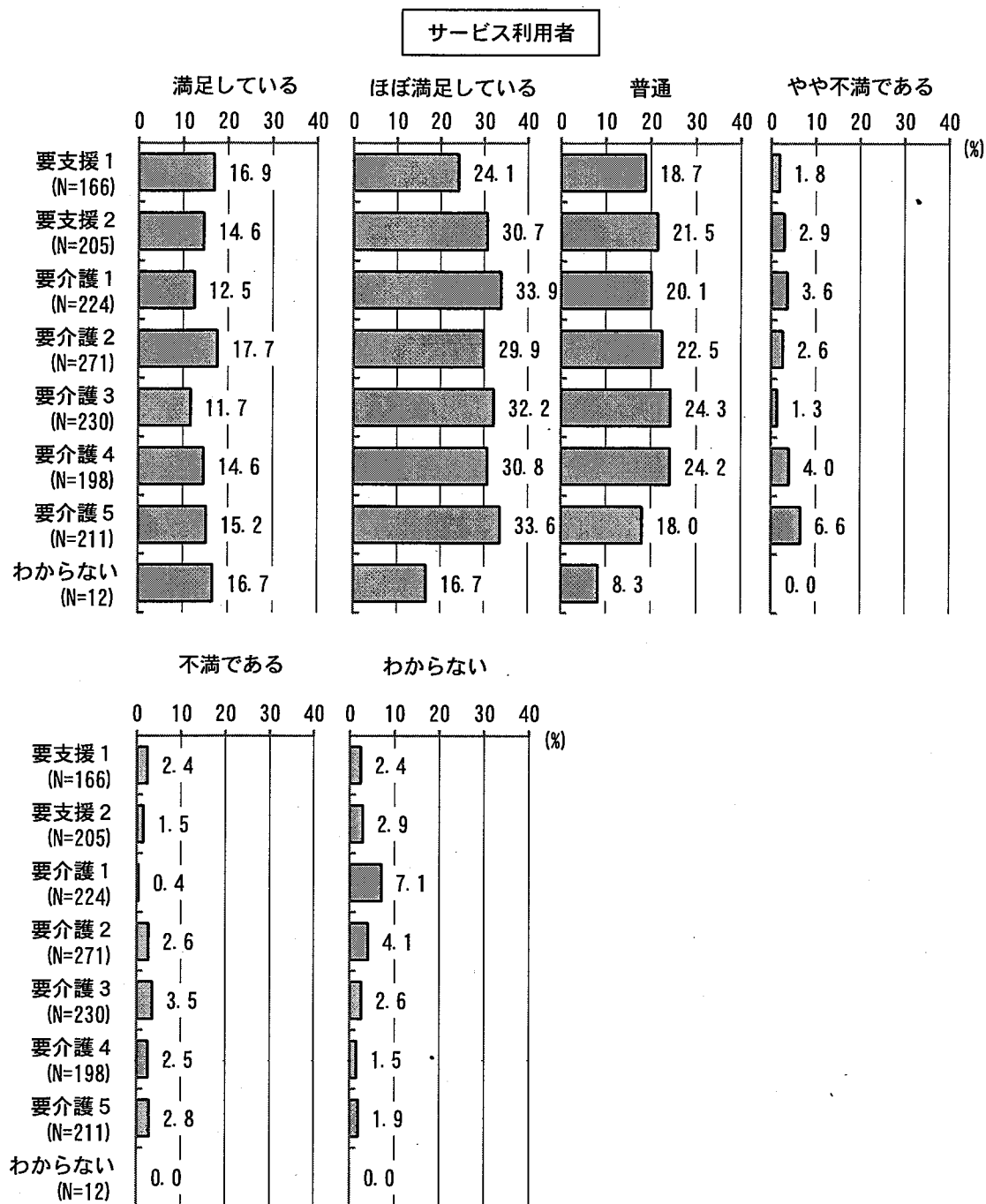
【図3-6 介護保険サービスについての介護者の満足度】



サービス利用者の介護者に、介護サービスの満足度をたずねると、「ほぼ満足している」が30.6%で最も多く、次いで「普通」が21.2%、「満足している」が14.7%となっている。また、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足』割合では45.3%を占めている。前回調査と比較すると、「ほぼ満足している」が6.0ポイント増加している。(図3-6)

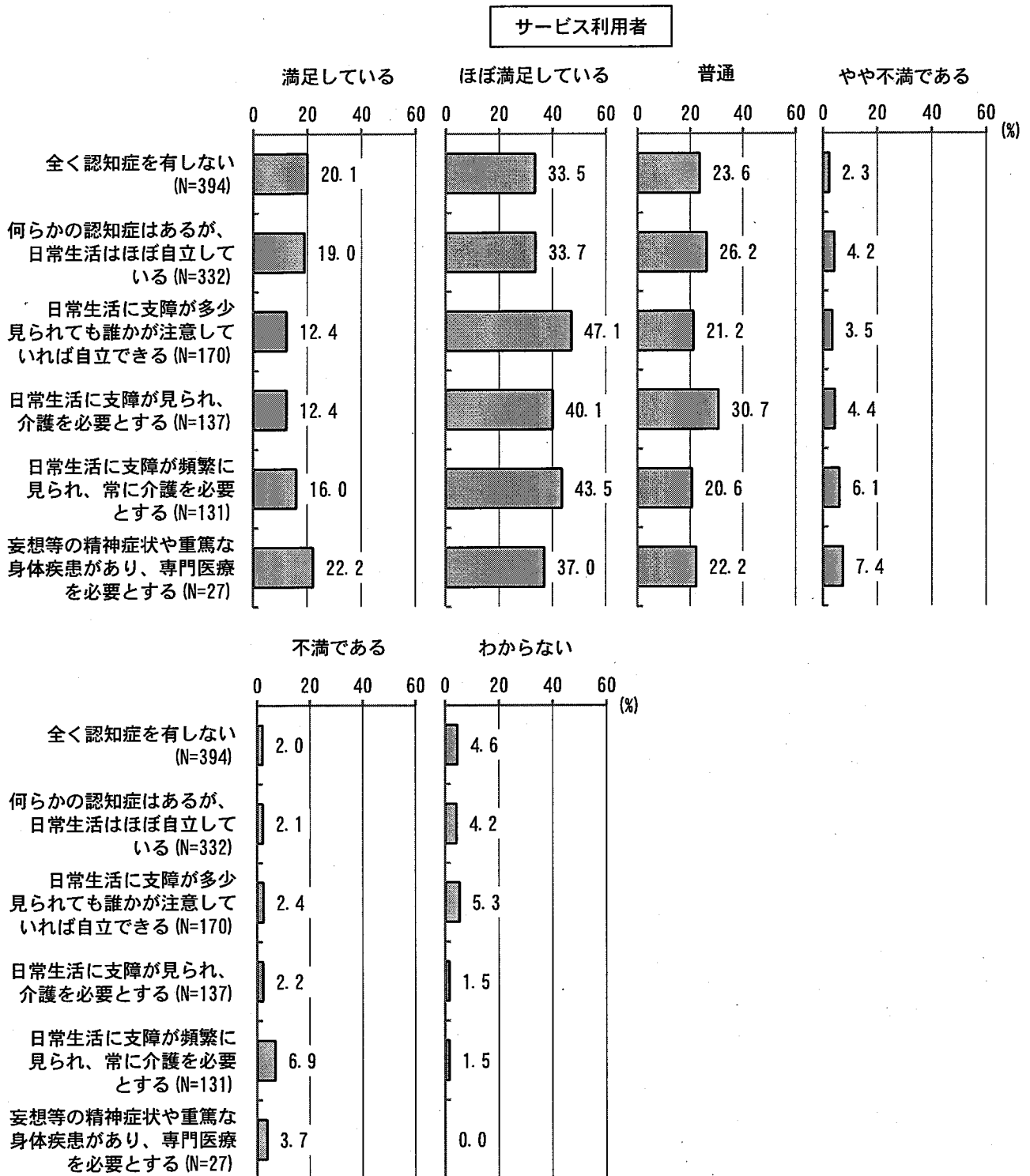
要介護度別でみると、要介護度に関わらず「ほぼ満足している」が最も多くなっている。また、『満足』割合では各要介護度で4割台を占めており、要介護5が48.8%で最も高くなっている。(図3-6-1)

【図3-6-1 介護保険サービスについての介護者の満足度（要介護度別）】



本人の認知症の程度別でみると、認知症の程度に関わらず「ほぼ満足している」が最も多くなっている。また、『満足』割合では、いずれの程度も5割台となっている。(図3-6-2)

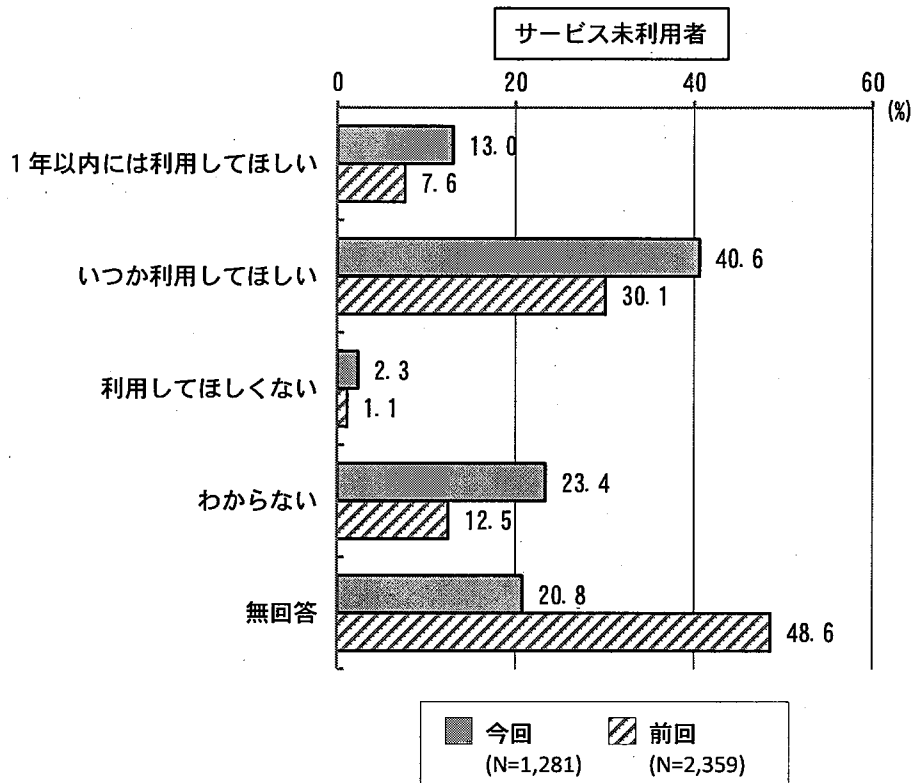
【図3-6-2 介護保険サービスについての介護者の満足度（本人の認知症の程度別）】



⑦ 本人に利用してほしい介護保険サービス

問24 今後、ご本人に介護保険サービスの利用をしてほしいですか。(○はひとつ)

【図3-7 本人に利用してほしい介護保険サービス】



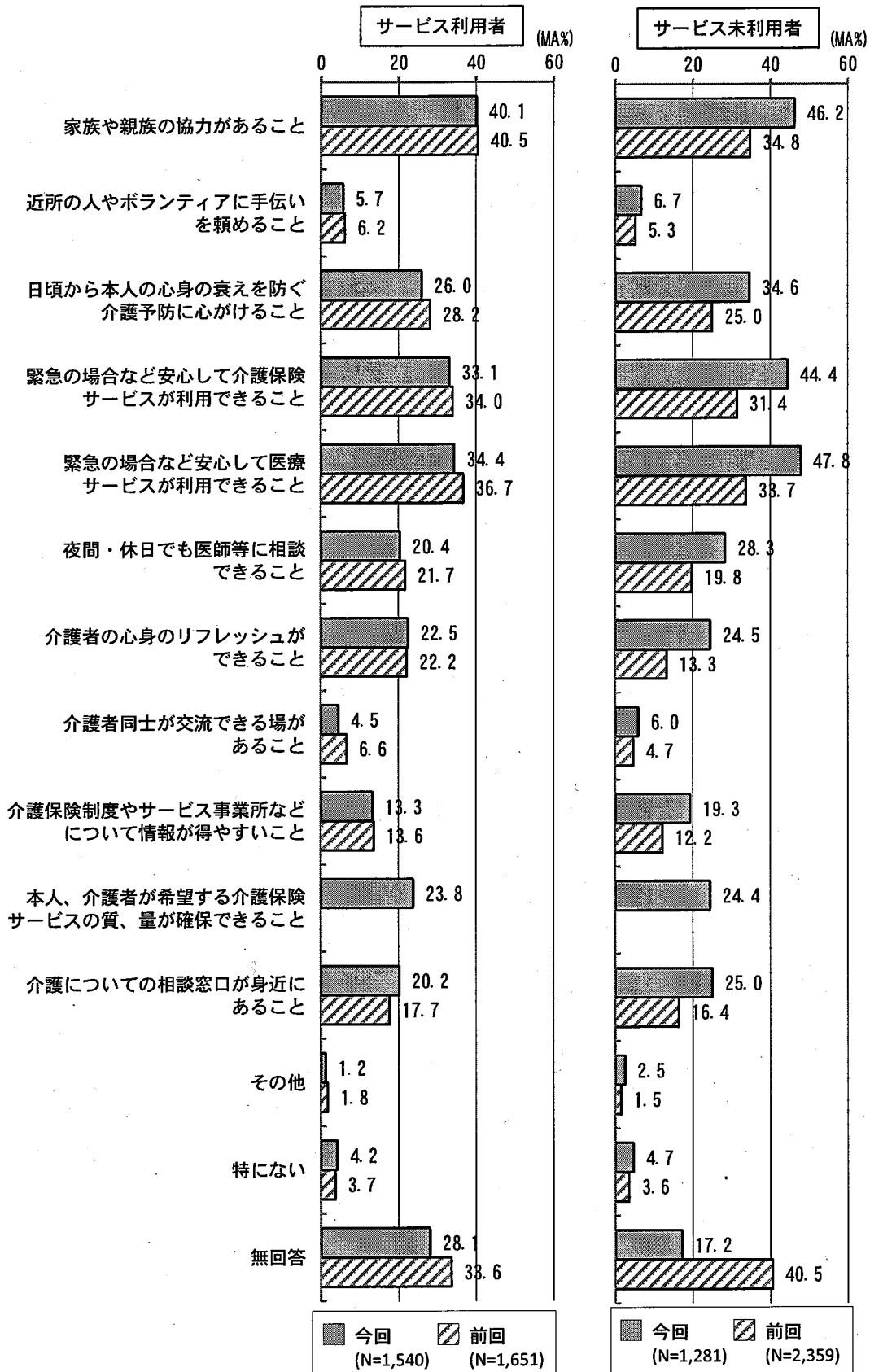
サービス未利用者の介護者に、今後、本人に介護保険サービスを利用してほしいかたずねると、「いつか利用してほしい」が40.6%で最も多く、次いで「わからない」が23.4%、「1年以内には利用してほしい」が13.0%となっている。

前回調査と比較すると、「1年以内には利用してほしい」が5.4ポイント増加、「いつか利用してほしい」が10.5ポイント増加している。(図3-7)

⑧ 在宅での介護を続けるために重要なこと

問27 (25) 主な介護者にとって、自宅での介護にあたって重要なことは何ですか。  
(○はいくつでも)

【図3-8 在宅での介護を続けるために重要なこと】



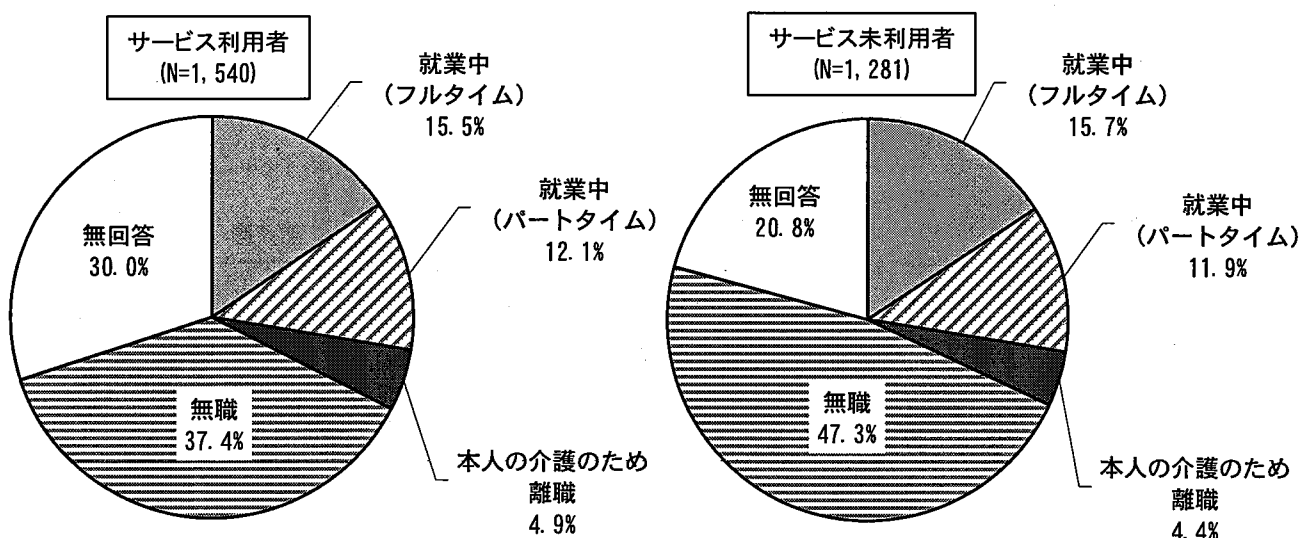
在宅での介護を続けるために重要なことについて、サービス利用者では、「家族や親族の協力があること」が40.1%で最も多く、次いで「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が34.4%、「緊急の場合など安心して看護保険サービスが利用できること」が33.1%、「日頃から本人の心身の衰えを防ぐ介護予防に心がけること」が26.0%、「本人、介護者が希望する介護保険サービスの質、量が確保できること」が23.8%となっている。一方、サービス未利用者では、「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が47.8%で最も多く、次いで「家族や親族の協力があること」が46.2%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が44.4%、「日頃から本人の心身の衰えを防ぐ介護予防に心がけること」が34.6%、「夜間・休日でも医師等に相談できること」が28.3%となっている。

前回調査と比較すると、サービス利用者はほとんど変化はないが、サービス未利用者ではいずれの項目も増加しており、なかでも「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が14.1ポイント、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が13.0ポイント、「家族や親族の協力があること」が11.4ポイント、「介護者の心身のリフレッシュができること」が11.2ポイントと、それぞれ10ポイント以上増加している。(図3-8)

### ⑨ 介護者の就業状況

問28 (26) 主な介護者の現在の就業状況についておたずねします。(○はひとつ)

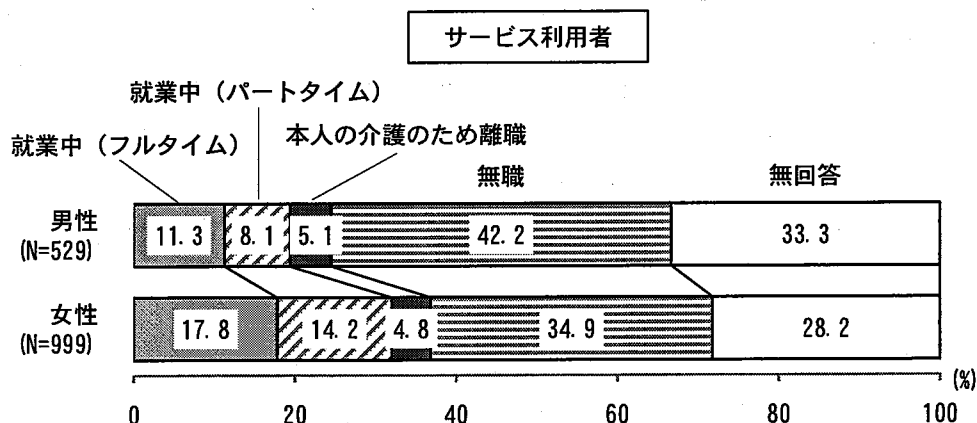
【図3-9 介護者の就業状況】



介護者の就業状況について、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「無職」が最も多く、次いで「就業者 (フルタイム)」、続いて「就業者 (パートタイム)」となっている。(図3-9)

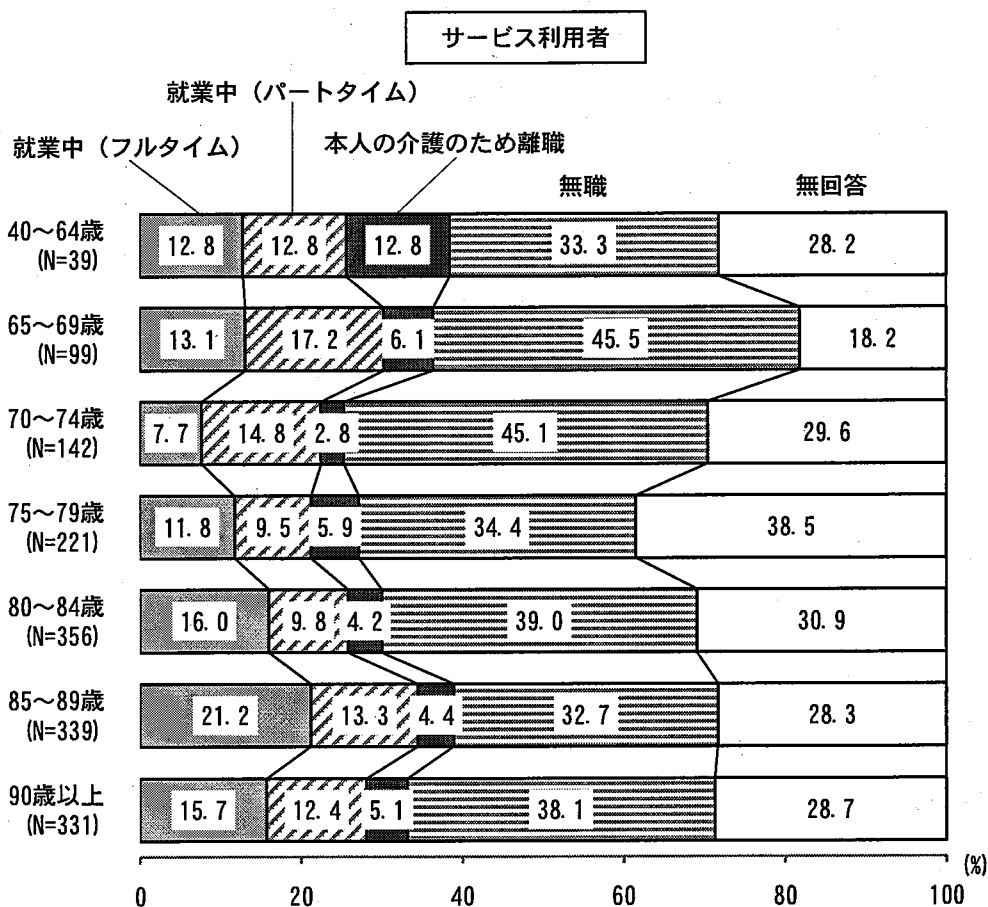
サービス利用者本人の性別でみると、本人の性別に関わらず「無職」が最も多くなっている。また、「就業者（フルタイム）」と「就業者（パートタイム）」を合わせた『就業者』割合では、男性の介護者が19.4%、女性の介護者は32.0%となっており、女性の介護者のほうが高くなっている。（図3-9-1）

【図3-9-1 介護者の就業状況（本人の性別）】



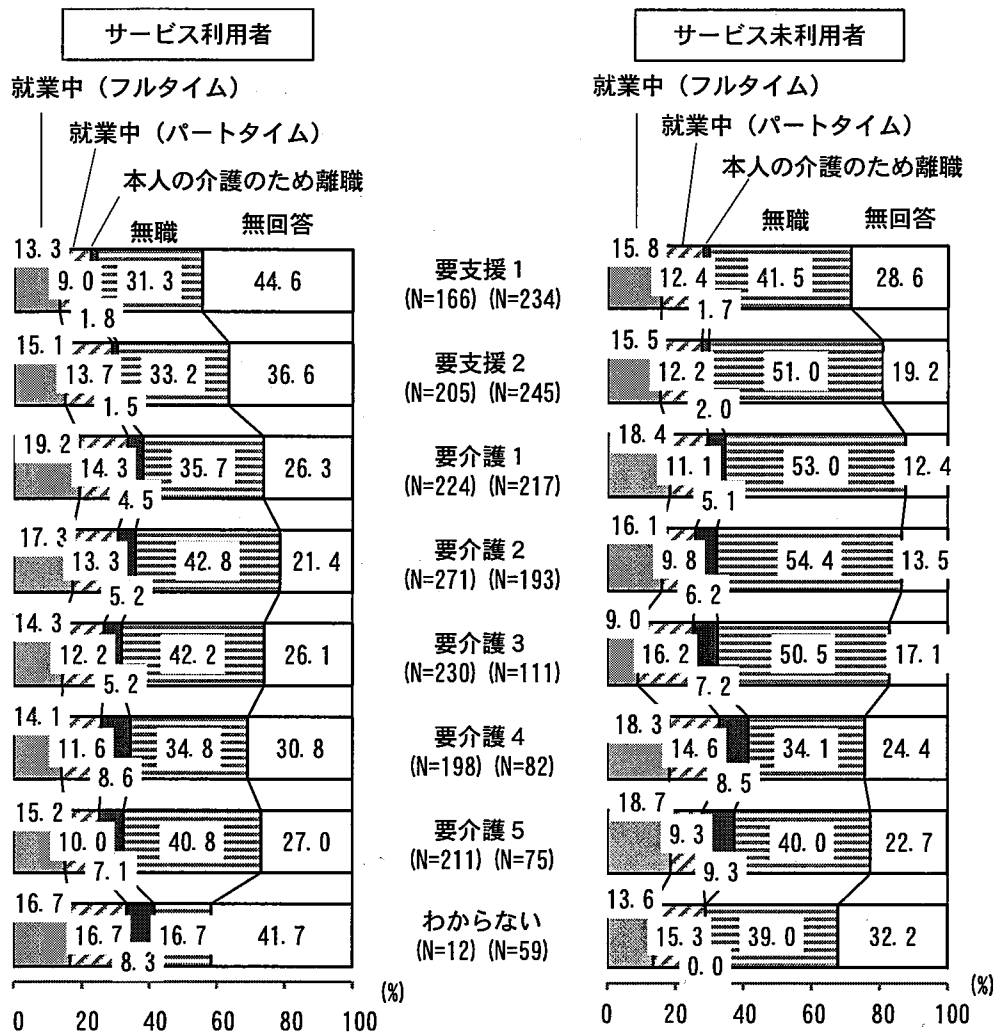
サービス利用者本人の年齢別でみると、本人の年齢に関わらず「無職」が最も多くなっている。また、『就業者』割合では、各年齢で2～3割台を占めており、なかでも85～89歳の介護者が34.5%で最も高く、次いで65～69歳の介護者が30.3%となっている。（図3-9-2）

【図3-9-2 介護者の就業状況（本人の年齢別）】



要介護度別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「無職」が、要介護度に関わらず最も多くなっている。また、『就業者』割合では、サービス利用者・未利用者の両介護者とも2～3割台となっており、サービス利用者は要介護1が33.5%、サービス未利用者は要介護4が32.9%で、それぞれ最も高くなっている。(図3-9-3)

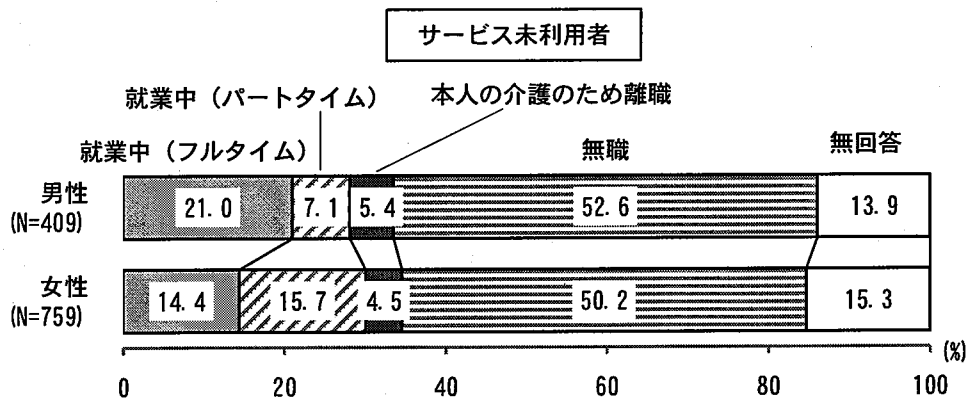
【図3-9-3 介護者の就業状況(要介護度別)】





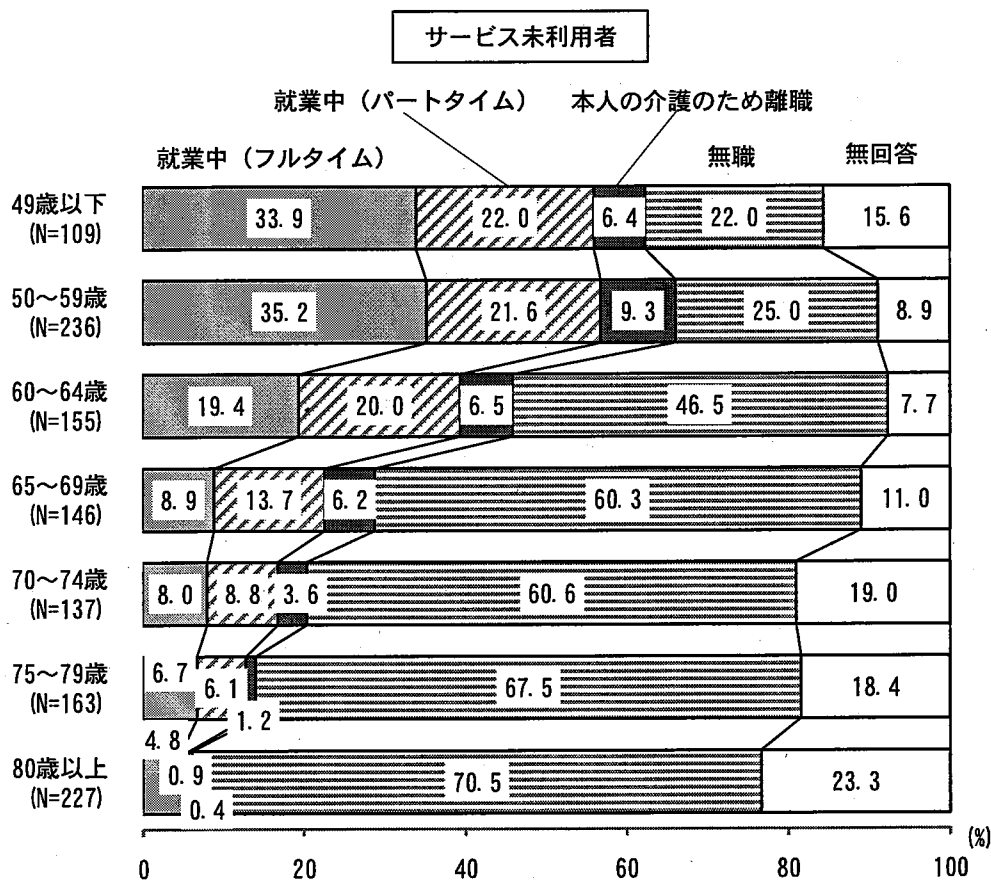
サービス未利用者の介護者の性別でみると、介護者の性別に関わらず「無職」が5割台を占めている。これに次いで、男性介護者は「就業中（フルタイム）」が21.0%、女性介護者は「就業中（パートタイム）」が15.7%と多くなっている。（図3-9-4）

【図3-9-4 介護者の就業状況（介護者の性別）】



サービス未利用者の介護者の年齢別でみると、59歳以下の介護者は「就業中（フルタイム）」が3割台で最も多くなっており、60歳以降の介護者は「無職」が最も多くなっている。また、「就業中（パートタイム）」では、64歳以下の介護者で2割台を占めている。（図3-9-5）

【図3-9-5 介護者の就業状況（介護者の年齢別）】



サービス利用者で1日平均の介護時間別でみると、介護時間に関わらず「無職」が最も多くなっている。また、『就業者』割合では、1～3時間ぐらい介護している介護者は4割台を占めているが、介護時間が長くなるほど割合は低下している。(図3-9-6)

【図3-9-6 介護者の就業状況（1日平均の介護時間別）】

